

以下はWHO仮訳であり、原文（英文）の内容が優先します。

<http://www.who.int/hac/crises/jpn/faqs/en/index3.html>

日本への渡航アドバイス

FAQ（よくある質問）

（2011年3月20日 ジュネーブ時間）

WHOの日本への渡航情報はどのようなものか。

- WHOは現時点では日本への旅行に関して一般的な制限を勧告していない。
- しかし、旅行者は地震と津波で最も大きな被害を受けた地域への旅行は避けるべきである。原子力発電所緊急事態の対応および統制措置をはじめとする災害救助活動が現在行われているため、被災地での旅行は容易ではなく、救助活動にあたっている人達や被災者が必要としている資源を旅行者が消費してしまいかねない。また、日本の関係当局が示している通り、福島第一原子力発電所周辺の避難区域内および立ち入り禁止区域内への旅行は禁止されている。
- 一般に、通常のインフラにかなりの混乱をきたし、当局が緊急人道的ニーズに対応している地域への旅行は、必要不可欠な理由のない限り延期を検討すべきである。

日本を旅行する際に気をつけることは何か。

- 旅行者は、日本における今後の地震発生リスクも認識すべきである。また、電力、燃料、食糧および水が不足している地域がある可能性も認識すべきである。
- 日本に滞在中の旅行者は、地元の報道を注視し、地元当局が発表する勧告および指示に従い、自身の旅行および所在の詳細を各自の大使館または領事館に登録すべきである。
- 福島県の原子力施設の状況に関する情報は日本の原子力安全・保安院(NISA)および国際原子力機関(IAEA)のウェブサイトで見ることができる。そのほかの情報はWHOのウェブサイトで見ることができる。

– [日本原子力安全・保安院\(Japan's Nuclear and Industrial Safety Agency \)\(NISA\)](http://www.nisa.go.jp/)
<http://www.iaea.org/>

– [国際原子力機関\(International Atomic Energy Agency \)\(IAEA\)](http://www.iaea.org/) <http://www.iaea.org/>

日本から帰国する旅行者は他者に対し健康リスクを及ぼすか。

- 現時点では、原発付近で緊急対応に関わる人々のみが高レベルの放射線が見られる区域にとどまっている。自身の安全のため、この区域にいる人は全員、現地を離れる際に除染手続きを受けるべきである。福島第一原発周辺20kmの避難区域において、適切なスクリーニングおよび除染手続きを受けて日本から帰国する旅行者、および日本の他の全地域から帰国する旅行者は他者に対して放射性的健康リスクを引き起こすことはなく、スクリーニングの必要もない。